

# 平成 29 年度 第1回 近畿本部建設部会講演会のご案内

## 「ローテクとハイテクで土木に新たな世界をひらく」

### ～ 短期技術指導員として参加しませんか～

平成 29 年度建設部会講演会を以下のとおり開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

※まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

主 催 : 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 建設部会  
 【土木学会 CPD プログラム、全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラム認定】  
 日 時 : 平成 29 年 4 月 11 日 (火) 18:30~20:00  
 場 所 : 日刊工業新聞社ビル (大阪市中央区北浜東 2-16) 10 階  
 募集定員 : 60 名 (会員 40 名、非会員 20 名)  
 講 師 : 木村 亮氏 (京都大学大学院工学研究科 教授)  
 参 加 費 : 1000 円 (建設部会会員は 500 円)  
 懇親会 : 講演会終了後、会場の近くで開催 (会費 3,000 円程度)  
 申込期限 : 平成 29 年 4 月 5 日 (水) ※定員になり次第締め切ります。

### 平成 29 年度第 1 回 近畿本部建設部会講演会 参加申込書

平成 年 月 日

【懇親会】 : 参加・不参加

【建設部会員】

氏名	
所属	
E-mail	

【建設部会員以外の方】

氏名	
所属	
連絡先 TEL	
E-mail	
<input type="checkbox"/> 技術士 (部門: 建設)      / 会員・非会員 )	
<input type="checkbox"/> 技術士補 (部門: )      / 会員・非会員 )	
<input type="checkbox"/> 修習技術者 <input type="checkbox"/> その他	

【申込み先】 公益社団法人日本技術士会近畿本部建設部会幹事長 河野千代

E-mail : [kouno@hisamotogumi.co.jp](mailto:kouno@hisamotogumi.co.jp)

FAX : 06-6692-0478 TEL: 080-2483-7646

# 平成 29 年度 第 1 回近畿本部建設部会講演会

## 「ローテクとハイテクで土木に新たな世界をひらく」

### ～ 短期技術指導員として参加しませんか～

講師 木村 亮 氏

京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授  
NPO 法人 道普請人 理事長



#### 【略歴】

- 1982 年 3 月 京都大学 工学部 土木工学科 卒業  
1985 年 3 月 京都大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 修士課程 修了  
1994 年 4 月 京都大学 工学部 交通土木工学科 助教授  
2006 年 7 月 京都大学 国際融合創造センター 教授  
2007 年 7 月 京都大学 産官学連携センター 教授  
2010 年 4 月 京都大学 産官学連携本部 教授  
2010 年 10 月～ 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授

#### 【受賞歴】（一部抜粋）

平成 27 年度土木学会論文賞

「土のう工法の普及活動を通した未舗装道路整備の BOP ビジネス化」

平成 26 年度地盤工学会関西支部賞（地盤技術賞）

「大規模な実群杭基礎の耐力・変形評価および予測解析手法の開発」

平成 20 年度地盤工学会技術開発賞 「鋼管矢板式構造物に対する連結鋼管矢板工法の開発」

地盤工学会関西支部賞地盤技術賞 「チェーンを補強材とする補強土壁の開発」

平成 18 年度土木学会論文賞 「斜杭を有する群杭基礎の地震時の力学特性（総合題目）」

#### 【講演概要】

「Do-nou」で道を整備する。全世界で住民とともに整備した道の総距離はすでに『145,026m』。多くの発展途上国が農業国でありながら、インフラ（農道、ため池など）の整備が進まず貧困に苦しんでいる。農作物を市場に届ける道を現地に適したやり方で住民とともに整備し、住民自身で維持管理をしていくための技術移転と定着化の取組を紹介する。

また、構造物「基礎」のパンドラの箱と新しい基礎の姿、基礎の耐震補強と発想転換の必要性、杭基礎一体型鋼管集成橋脚（阪神高速道路海老江 JCT、西船場 JCT で採用）の開発経緯他についてもお話しいただく。